

「パートナーシップ構築宣言」

当社は、サプライチェーンの取引先の皆様や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築するため、以下の項目に重点的に取り組むことを宣言します。

1. サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を超えた新たな連携

直接の取引先を通じてその先の取引先に働きかける（「Tier N」から「Tier N+1」へ）ことにより、サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組むとともに、既存の取引関係や企業規模等を超えた連携により、取引先との共存共栄の構築を目指します。

○データで社会を見える化し、経済・社会の発展に貢献します。

○先進のテクノロジーで信頼性の高い情報インフラを担います。

○QUICK 人権方針を定め、人権尊重の取り組みを推進します。本方針は、当社の全ての役員および従業員に対し適用されるほか、当社のビジネスパートナーおよびサプライヤーに対しても、本方針の支持および順守を求め、協働して人権尊重を推進します。

2. 「振興基準」の遵守

親事業者と下請事業者との望ましい取引慣行（下請中小企業振興法に基づく「振興基準」）を遵守し、取引先とのパートナーシップ構築の妨げとなる取引慣行や商慣行の是正に積極的に取り組みます。

①価格決定方法

不合理な原価低減要請を行いません。取引対価の決定に当たっては、下請事業者から協議の申入れがあった場合には協議に応じ、労務費上昇分の影響を考慮するなど下請事業者の適正な利益を含むよう、十分に協議します。取引対価の決定を含め契約に当たっては、親事業者は契約条件の書面等による明示・交付を行います。

②手形などの支払条件

下請代金は現金で支払います。

③知的財産・ノウハウ

片務的な秘密保持契約の締結、取引上の立場を利用したノウハウの開示や知的財産権の無償譲渡などは求めません。

④働き方改革等に伴うしわ寄せ

取引先も働き方改革に対応できるよう、下請事業者に対する納期決定や仕様変更に際しては適宜協議を行います。災害時等においては、下請事業者に取引上一方的な負担を押し付けないように、また、事業再開時等には、できる限り取引関係の継続等に配慮します。

3. その他（任意記載）

当社はあらゆるステークホルダーと真摯に向き合い、金融情報サービスを通して社会課題の解決を目指します。企業として成長していくと同時に、次世代の人々が活躍できる持続可能な社会を実現するため、サステナブル経営を推進していきます。

2022 年 10 月 11 日

株式会社 Q U I C K

代表取締役社長 高見 信三